



## クラブ会長の計画および目標

2010-2011年度R I テーマ

### 「地域を育み大陸をつなぐ」

シンフォニーロータリークラブは1995年11月24日創立総会を開催し、本年15周年という節目を迎えます。この重要な年に会長という大任を拝し、身の引き締まる思いでございます。

初代小林弘会長を始め、会員の皆様の年々における数々の奉仕とロータリアンとしての高邁な理想をしっかりと受け継ぎ次のステップと踏み出してゆく事が私に課せられた使命かと思えます。

根深ければ枝茂し、源遠ければ流れ長し（源遠長流）の原理の如く、この一年、深い一年にして参りたいと思っております。

2010-2011年度 レイ・クリンギンスミスR I 会長は「地域を育み、大陸をつなぐ」をテーマに掲げました。これを受けて第2840地区 福田一良ガバナーは「世の中の役に立とう」のテーマのもとに、地区重点目標を次の様に掲げております。

- ① R I 会長賞に挑戦しよう。
- ② クラブにおける長期計画を作成しよう。
- ③ クラブ合同奉仕プロジェクトを推進しよう。
- ④ 会員増強をするとともに、会員減少を防止し、「純増1名以上」を目標にしよう。
- ⑤ 例会出席率「90%以上」を達成しよう。
- ⑥ ロータリー財団へ「毎年あなたも100ドルを」を実行しよう。
- ⑦ 米山記念奨学会への「あなたも15,000円」を実現しよう。
- ⑧ ポリオ撲滅運動「24ドルを」を支援しよう。

ロータリーの価値を広く地域社会に広める為には、ロータリアンとして地域の良き住人であることが大切かと思えます。良質な職業人の代表とも言われるロータリアン。『思いやりの心で、温かみのあるロータリアン』の一人一人の行動の小さなうねりが万波となって大陸に波動する。まさに世界は一つ。R I 会長のテーマかと思えます。

そこで具体的なシンフォニーロータリークラブとして今年度の計画と目標を掲げました。

#### 計画

##### (1) 創立15周年の式典の大成功

会員と会員を支える家族にとって思い出に残る式典を。

##### (2) 例会の充実

お一人お一人大切な会員です。魅力ある例会で親睦交流に努め、退会防止とお仲間作りに努めます。当クラブには合唱団があります。その力を借りて歌声響く楽しい例会の開催に努めて参りたいと思えます。

##### (3) 継続的な社会奉仕の実施

未来を担う子ども達の為のミニサッカー大会の支援や環境保全の第一歩としての清掃活動の継続、防犯パトロールの実施と地域社会の維持・振興に役割を果たして参ります。

#### 4. 広報の重要性

R Iでも広報活動の重要性を掲げております。ロータリーの公共イメージと認知度向上のため、地域に根ざした奉仕活動の実践をPRし、クラブ単位でも広報の重要性を認識いただき、より効果的な広報活動の推進を支援します。

#### 5. 21世紀デザイン室の設置

現在ロータリー先進国と言われる国々では、会員減少の深刻化、それに伴うクラブの統廃合、クラブ運営費の削減等が進められております。同時にロータリーの持つ夢が失われてゆくようにも感じられてなりません。地区運営におきましても同様な危機感の共有が迫られております。しかし、難しい課題や変革に挑戦できるロマンがロータリーの夢を叶えることにもなりましょう。今年度からは、外部からの有識者の参加を得て、これからの地区活動を検討し、ロータリーが叶えるべき夢を模索するため、新たな委員会（室）を設置します。